

CCS Report No.2

アクアシート コンクリート構造物の湿潤養生方法の多様化

①湿潤養生の目的:

アクアシートを用いて湿潤養生する目的は、

- ・型枠を用いない水平面では、『給水』を、
- ・型枠を用いる鉛直面等では、『水分逸散抑制』を基本とします。

湿潤養生方法の多様化

目的	水平面	鉛直面
給水	孔あり	(孔なし)
水分逸散抑制	孔なし	孔なし

②アクアシートの材質:

吸水性を有する反面、養生水の乾燥を抑制するためには、軽量で吸水性のある不織布の片面をラミネート加工したものが適しています。



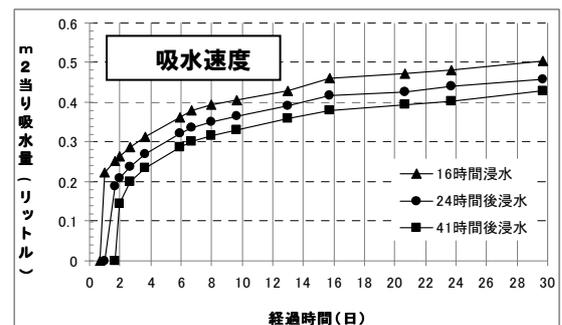
③アクアシートの孔の大きさと配置ピッチ:

アクアシートの上方から散水して養生水を供給するためには、孔面積率が大切です。

孔面積率が大きいと、養生水の蒸発量が過大となり、小さいと散水による給水量が過少となります(孔面積率:単位面積当たりの孔の総面積比率)。

④水平面にアクアシートを用いる場合:

- ・風に対する飛散防止:注水した排水用ホース(直径75mm)をアクアシート4辺に設置するとシート全周を隙間なく押さえることができ、飛散対策と養生水の蒸発の抑制に効果的です。
- ・給水は、こて仕上げ終了後、表面があれることがなくなる12時間程度以降できるだけ早い時期に開始してください。
- ・給水時間間隔は、コンクリートの湿潤状態を観察しながら行いますが、28日間に吸水する量の約半分を1日で吸水しますので開始初日は数時間間隔、その後は給水回数を低減する方向で検討ください。
- ・給水養生期間は、コンクリート標準示方書に定める湿潤養生期間の標準とします。



⑤鉛直面にアクアシートを用いる場合:

- ・40分後の鉛直面のシート内部は湿潤に保たれています。
- ・アクアシートの天端は配線ステッカーに差し込んだり、テープで貼り付けてください。
- ・水分逸散抑制を目的とする場合には、シート内に風が吹き込まないように、周辺をテープで押さえてください。



配線ステッカー



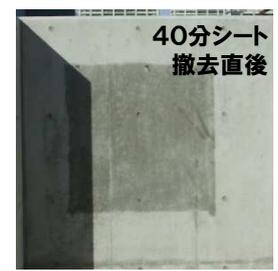
散水直後



8分後



40分後



40分シート
撤去直後